



ふるさと笠松の「モラルセンス」No.7



「小学校の中庭に、なぜキリシタン灯ろうがあるの？」

下の写真は笠松小学校の中庭に立っているキリシタン灯ろうです。なぜ、小学校の中庭にキリシタン灯ろうが立っているのでしょうか？その謎について、伊藤泰治さん(右の写真：朝日町在住)が教えてくださいました。



↑ お話をしてくださった伊藤 泰治さん

質問 なぜ、小学校にキリシタン灯ろうがあるのですか？

答え 今から70年ほど前の昭和20年頃、家に庭をつくってもらおうということで、岐阜市の本荘にある庭師さんに庭造りをお願いいたしました。するとその庭師さんが灯ろうを運んでみえました。

問 その灯ろうがキリシタン灯ろうだったのですか？

答え その通りです。

質問 西町の伊藤さんの庭にあった灯ろうがどうして笠松小学校に移ったのですか？

答え 庭に灯ろうを立てたのですが、方角が悪いということで場所を何度か変えました。最後の頃には、隣の久納(酒造)さんとの境に横倒しにして置いてありました。たまたま久納さんの家人に、歴史に詳しい方がみえたので、灯ろうを鑑定していただきました。すると、とてもめずらしい灯ろうだということで、役場に保存を持ちかけてくださいました。役場から「とても大切な文化財なので、笠松小学校の中庭においたらどうですか？」と示唆をいただきました。そこで、リヤカーで小学校に運んだということを聞いています。



↑ かくれキリシタン灯ろう

質問 その他にエピソードがありますか？

答え 古物商の人が、「このキリシタン灯ろうを譲って欲しい。」と買いにきたことがあったそうです。もちろんお断りしました。

※伊藤さん、貴重なお話ありがとうございました。

笠松にはキリスト教に関係する史跡や遺物がこの他にも多く残されています。例えば円城寺の専養寺、下新町の善光寺、田代の河川敷の大白塚などにキリスト教関係の史跡や遺物が残っています。江戸時代にはキリスト教は禁止されましたが、「隠れキリシタン」は厳しい弾圧の中でも生き残っていったのでしょうか。



↑ マリア像

幼、保、小、中、高校生の皆さんからボランティア体験を募集します。ぜひ、お寄せください。また、町内で「ちょっといい話」を小耳にはさまれましたら、笠松中央公民館担当まで電話、FAX、手紙、意見箱などの方法で、ご連絡いただけると幸いです。記事にさせていただくことがあります。なお、この「モラルセンス」は笠松町のホームページの「道徳のまち」のパナーをクリックすることによって、第1号から最新号まで閲覧できます。ご活用ください。Tel 388-3926 FAX388-3233